

事務事業マネジメントシート(平成24年度実績と平成25年度計画)

平成26年 1月 8日 更新

事務事業名		環境美化活動事業					☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	2 緑豊かな環境と共生するまちづくり					所属部	総務部	課長名	財津 公正
	施策	9 住環境の充実					所属課	環境衛生課	担当者名	小畑 英之
	基本事業	23 環境衛生の充実					所属班	環境衛生班	(内線)	1142
予算科目		会計一般	款 4	項 1	目 7	事業連番 10116	法令根拠	合志市美しいまちづくり条例 成果優先度評価結果 : ⑧ コスト削減優先度評価結果 : ⑥		
終了、開始年度		☐ 24年度で終了 ☐ 24年度から開始					事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	くまもとみんなの川と海づくりデーに伴い平成5年度より開始した。各区及び職員等による環境美化活動の推進を行う。平成19年度より燃やすごみの減量化の取り組みとして、地域の美化活動等で発生した枝草類を星山商店に搬入している。また、平成21年度から合志バイオXへの搬入も開始した。各区における清掃活動の受付について、平成21年度より環境衛生課が窓口となった。地域の美化活動等で発生した枝草など星山商店に搬入した処理費を、環境衛生課で支払っている。
【業務の流れ】	各区の清掃活動実施日の把握・実施後の処理、職員等による清掃活動の計画・実施、枝草類の収集運搬
【主な予算費目】	需用費、役務費(切手・葉書代)、委託料
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	各地区のボランティア清掃日は、休日作業がほとんどであり、受け入れ施設の休日対応の話がある。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 24年度実績(24年度に行った主な活動)(DO)		25年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
各地区のボランティア作業による公園・道路の清掃活動、及びPTAによる愛校作業で出た枝草等の分別処理料を支払った。また、上生川、塩浸川の河川清掃作業をボランティアを募り行った。		各地区による清掃活動による枝・草等の収集運搬、ボランティアや職員等による河川清掃(上生川・塩浸川)
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア 清掃活動を行った行政区	地区	河川清掃時の参加者へ提供するお茶代(食料費)の減
イ 河川清掃に参加した職員等	人	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	(単位)	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
河川、公園等	箇所	→ ア 公園の数
	本	→ イ 河川の数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
河川、公園等の草・枝等を適切に処分する	kg	→ ア 処理委託した量
		→ イ
* ③ 成果指標設定の理由と25年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ～ 年度
燃やすごみの減量化の取り組みとして、地域の美化活動等で発生した枝草類を委託事業所へ搬入しているので、成果指標を「処理委託した量」とし、目標値は各区の清掃活動等による枝草類の処理については毎年発生するので前年度目標と同様の「110,000kg」と設定した。		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	22年度 実績(決算)	23年度 実績(決算)	24年度 目標(当初予算)	24年度 実績(決算)	25年度 目標(当初予算)	26年度 予定	27年度 見込	28年度 見込
① 活動指標	ア 地区		80	80	80	80	80	80	80	80
	イ 人		340	268	400	272	400	400	400	400
② 対象指標	ア 箇所		148	148	148	164	164	164	164	164
	イ 本		2	2	2	2	2	2	2	2
③ 成果指標	ア kg		89,300	108,270	110,000	94,910	110,000	110,000	110,000	110,000
	イ									
投資 入費 量	事業 内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	2,386	2,078	2,072	1,849	2,067	2,072	2,072
	(A) 事業費計		千円	2,386	2,078	2,072	1,849	2,067	2,072	2,072
		(A)のうち指定経費	千円	3	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	3	0	0	0	0	0	0
人件 費	正 規 職 員 従 事 人 数		人	7	6	7	7	8	8	8
		延べ業務時間	時間	400	430	450	275	450	450	450
	(B) 人件費計		千円	1,648	1,736	1,817	1,119	1,817	1,817	1,817
トータルコスト(A)+(B)			千円	4,034	3,814	3,889	2,968	3,884	3,889	3,889

事務事業名	環境美化活動事業	所属部	総務部	所属課	環境衛生課
-------	----------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部（SEE）

*原則は24年度的事後評価、ただし複数年度事業は24年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①24年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☐ 達成した 環境美化推進員をはじめ、環境に対する美化意識の向上は図られたが、各地区で行う美化作業時に出る枝草等が平成23年度と比較して少なかった。原因は、家庭から出る枝草等の処分について、袋に入れる大きさに伐採して搬出されるなど、ごみ出しの仕方や分別の徹底が図られたことが考えられる。
	②25年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 各区清掃活動等の受付時において周知を図ることで、目標達成の見込みがある。 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	☐ 向上余地がある⇒【理由】 毎年、枝草類の処理を行う必要がある。枝草類の処理については、再利用可能な分を星山商店に搬入する。美化意識の向上を図ることにより、更なる成果は期待できる。 ☒ 向上余地がない⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☒ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☒ 統廃合・連携ができる⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない⇒【理由】 関係課で対応していた各区による清掃活動の受付については、平成21年度より環境衛生課が窓口となった。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☒ 削減余地がある⇒【理由】 枝草類の処理については、再利用可能な分を合志バイオXに搬入することで削減可能。 ☐ 削減余地がない⇒【理由】
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	☒ 削減余地がある⇒【理由】 各区の清掃活動の受付については環境衛生課が窓口となったことから業務時間は微増したが、枝草類の処理については、関係課と連携を図ることで削減可能。 ☐ 削減余地がない⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある⇒【理由】 ☒ 公平・公正である⇒【理由】 公共用地のみを対象としているので公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	☐ 見直し余地がある⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である⇒【理由】 各区による清掃活動の実施、その受付関係を市が行っており役割分担は適正である。

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

平成24年度は、地域の美化活動等で発生した枝草類の処理した量は94,910kgだった。また、市民、事業所、職員等による河川清掃を実施した。枝草類の処理については、処理可能な分を星山商店に搬入する。美化意識の向上を図ることにより、更なる成果は期待できる。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☒現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） 各地区のボランティアによる地域の清掃活動は、住民自らが生活環境の清潔保持の心を育む大事な事業であり、今後も継続し環境保全に努める				(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要） <table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>						コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																										
		削減	維持	増加																								
成果	向上																											
	維持		○																									
	低下																											
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策 特になし																												